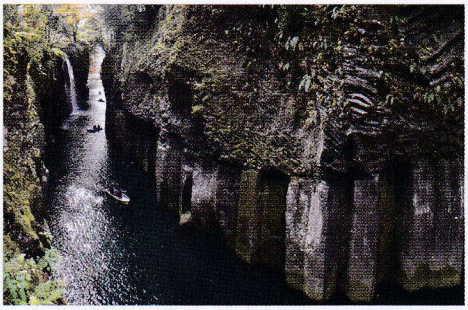
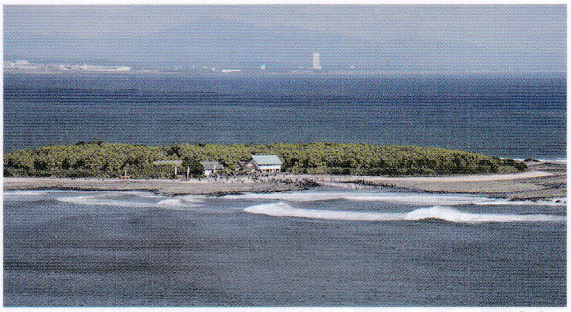
歴史と文化が息づく みやざき2020 全国漢詩の祭典


高千穂峡

西都原


青島

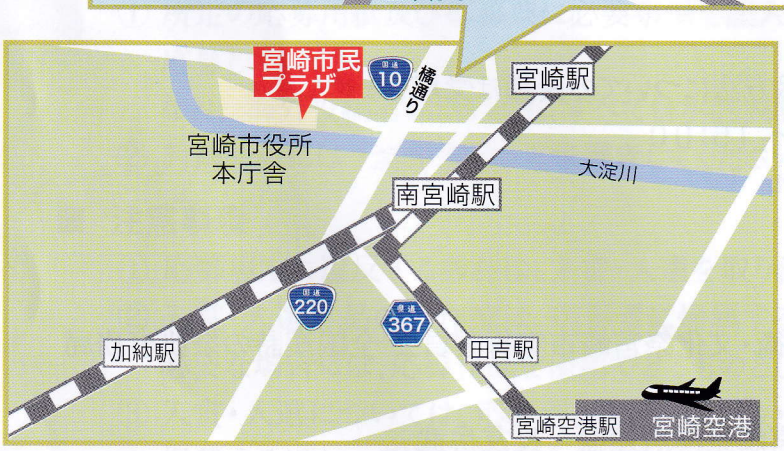
日南海岸 堀切峠

鵜戸神宮

郷土の偉人
江戸末期～明治の大漢学者
安井 息軒

江戸期漢学を集大成した安井息軒は宮崎市清武町中野に生まれ幼少期から学問を志した。二十一歳で大阪留学、二十五歳で江戸の昌平坂学問所に入り、「誓いて人の為す能わざる所を為さん。」と心に決め、中国古典の研究に打ち込んだ。二十八歳の時帰藩し、父・滄洲とともに明教堂や振徳堂で子弟の教育にあたった。

父の死後、江戸で三計塾を開くと全国から優秀な人材が集まった。門下生からは谷干城、陸奥宗光をはじめ明治時代に知事・大臣など高位高官になったもの、陸軍大将、海軍少将、大学教授、漢学者など全国に二、〇〇〇人にのぼる優秀な人材を輩出した。



神武天皇お船出の地 美々津

会場への交通のご案内

- **宮崎市民プラザオルブライトホール**
  〒880-0001 宮崎市橘通西1丁目1番2号
  TEL: 0985-24-1008　FAX: 0985-29-2244
- **バスご利用の方**
  橘通1丁目バス停をご利用ください。
  バス停から徒歩3分
- **JRご利用の方**
  宮崎駅、南宮崎駅から バスで10分、徒歩30分
- **空港をご利用の方**
  宮崎空港から バスで25分、タクシーで20分

■お問い合わせ

第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭宮崎市実行委員会　全国漢詩の祭典事務局
〒880-0045　宮崎市大瀬町1705-3　宮崎県漢詩連盟　長友岳武
TEL&FAX: 0985-41-1523　　E-mail: tansamap@yahoo.co.jp